

甕島列島の魅力と可能性を探る

日時：令和5年3月11日（土）13時30分～17時30分

会場：鹿児島大学共通教育棟2号館1階212号

主催：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

参加費：無料

参加方式：対面、オンライン(Zoom)

【趣旨】

甕大橋が2020年8月に開通し甕島列島の3つの島が橋で繋がりました。このことは甕島列島があらためて注目されることになりました。甕島列島には風情ある武家屋敷跡や、2009年にユネスコの無形文化遺産に登録されたトシドンなどの世界的に注目される文化を有するほか、変化に富んだ海岸線や8000万年前の地層など、文化や自然の豊かな島です。また、恵まれた漁場があり、水産資源も豊富です。このような魅力が多くそなわる地域にもかかわらず、過疎化や海上交通に限定される交通手段の影響もあり、その地域の魅力が十分には発揮されているとはいえません。鹿児島大学国際島嶼教育研究センターでは2018年より甕島列島総合調査として、鹿児島大学のさまざまな分野の研究者とともに学術調査を行ってきました。その成果は来年度に「The Koshiki Islands」として出版される予定です。本シンポジウムではその成果の一部と、地元の研究者の活動、またそれらの研究と地元を繋ぐ活動を紹介して、甕島列島の新しい魅力を探り、将来に向けての可能性を考えていきます。

【プログラム】

- | | |
|-------------|---|
| 12:30 | 開場・受付 |
| 13:30 | 開会・趣旨説明 |
| 13:40-14:20 | 『甕島列島の地質と化石』三宅優佳（薩摩川内市企画政策課） |
| 14:20-15:00 | 『甕島で古くから伝えられてきたカンキツ』山本雅史（鹿児島大学農学部） |
| 15:00-15:20 | 休憩 |
| 15:20-16:00 | 『甕島漁業の現状と今後の展望』鳥居享司（鹿児島大学水産学部） |
| 16:00-16:40 | 『甕島の食文化ストーリー「旅と暮らしと食さんぽ」』大脇裕美（甕の旅ソムリエ協議会） |
| 16:40-17:30 | 総合討論 |
| 17:30 | 閉会 |

【対面式でのご参加（要登録・人数制限あり）】

新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、ご自身の体調を十分お考えのうえ、ご参加ください。また、ご参加いただく際には、マスク着用等、感染防止にご協力ください。

①鹿児島大学（メイン会場）は先着 40 名様、②奄美分室は先着 9 名様とします。対面式でのご参加をご希望の場合は、下記の情報をメールまたは電話にて 3 月 9 日（木）までにお知らせください。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、対面式を中止する場合もございますのでご了承ください。

お名前（必須）：

お電話番号（必須）：

ご所属先：

ご住所：

メールアドレス：

メーリングリストへの登録の希望の有無：

初めてご参加いただく方で、今後、当センターの研究会やシンポジウム等の案内をご希望の方は「希望する」とお書きのうえ、メールアドレスも必ず記入してください。

【オンライン（Zoom）でのご参加（要登録）】

インターネット環境とパソコン、スマートフォン、タブレット等があれば、ご自宅やオフィスからご気軽にご視聴いただけます。通信費は参加者負担となります。

オンラインでのご参加をご希望の場合は、下記の情報をメールにて 3 月 9 日（木）までに下記のアドレスまたは別添のポスターの QR コードからご登録ください（通常の研究会とは登録方法が異なりますので、ご注意ください）。

<https://forms.gle/iy72WhmBhejEfq4o9>

【ご連絡先】

◆対面式（申込期限：3 月 9 日（木））

＜鹿児島メイン会場＞

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター：shimaken@cpi.kagoshima-u.ac.jp または 099-285-7394（担当：西）

＜奄美中継会場＞

奄美分室：amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp または 0997-69-4852（担当：財部）

◆オンライン（Zoom）（申込期限：3 月 9 日（木））

yotsuka@cpi.kagoshima-u.ac.jp（担当：大塚）